

議長宛に「世界平和統一家庭連合」・関連団体との関係について調査することを申し入れ

日本共産党議員団は、9月13日、野本恵司市議会議長宛に、「統一協会」・関連団体との関係について市議会議員の調査を行い、市民に調査結果を公表することを申し入れましたが、議長からは、調査する考えがないことが表明されました。

「安倍晋三元首相の『国葬』の実施に反対する意見書」 否決される

日本共産党は「安倍晋三元首相の『国葬』の実施に反対する意見書」を提出し、9月22日(木)本会議で審議した結果、賛成(竹田えつ子・すわみつえ議員他3名) 少数でした。意見書は、質疑・反対討論もなく否決されました。

21議案に賛成 4議案に反対

コロナワクチン接種事業、住民税非課税世帯への臨時特別交付金支給事業、このすグルメクーポン・水道基本料金減免など取組むとともに、市民の運動で社会問題化した「生理の貧困」への取組が実現しました。

一方で、コウノトリ飼育のために約2231万円もかけながら、敬老祝い金の支給が5歳間隔から11歳間隔に延ばされ、さらに介護保険料基準額の値上げで1年間の保険料は5万7,600円から6万2,400円とするなど、福祉予算の削減です。

市にお金がないわけではありません。実質収支額や基金残高が大幅に増加しました。

一般会計・特別会計すべて黒字、基金積み増しの決算

R2年度末基金総額104億6976万円
→ R3年度末総額113億5227万円

- ・財政調整基金 26億4326万円→30億9944万円
- ・減債基金 8億3305万円→10億7818万円
- ・介護保険給付費準備基金 4億3026万円→4億7729万円
- ・ごみ処理施設等整備基金 15億3349万円→16億3704万円 等

市民アンケートにご協力ください

日本共産党鴻巣市議団は、みなさんの声を市政に反映し、より住みよい街づくりを進めるため、市民アンケートに取り組んでいます。あなたが実現してほしいと願う要望、具体的なお悩みやお困りごとなど、市政への率直なご意見をお寄せください。

このす民報

議会報告版

2022年10・11月号 第430号 ★政務活動費で議会報告を作成しています。

日本共産党鴻巣市委員会の見解を紹介しします。

日本共産党鴻巣市議団
鴻巣市天神5-5-15

竹田えつ子 すわみつえ

☎542-7072 ☎507-4151
FAX542-7101 FAX596-9440

市民の命・くらしを守る市政へ

市民の暮らしは、コロナ危機による景気の低迷により、困難な状況が長期に及んでいます。さらに、ガソリン・食料品・電気料金をはじめ物価の高騰が、私たちのくらしに深刻な影響を与えています。市民が市政にもとめているのは「命と暮らしを守る」ことです。地方自治体の役割を鴻巣市が果たすことを求めました。

鴻巣市議会9月定例会で、並木正年新市長の所信表明が行われ、18人の議員が質疑を行いました。

竹田えつ子議員は、新ごみ処理施設建設について質しました。

前市長となんら変わらず

「ごみ処理問題、しがらみのない立場で早期解決!第3者委員会の設置」を選挙公約とした並木市長です。期待された方も多いと思います。建設候補地は後背湿地といわれる沼地であり、この場所に決まった選定過程において、文書の書き換えが行われていました。建設費用は、土壌整備・水路改修等で約100億円、全体費用は約611億円と鴻巣行田北本環境資源組合で試算され、白紙となった経緯があります。本当にこの場所で良いのか、第3者委員会の設置について市長の見解を問いました。

並木市長は、昨年9月16日に鴻巣・北本・吉見で交わした「基本合意書」の基づき進めていく、第3者委員会も設置しない旨を答えました。貴重な市民の税金を使つての新ごみ処理施設建設です。候補地も含め、より良いごみ処理施設にするために、これからも市民の皆さんと一緒に考え声を届けていきます。

すわみつえ議員は「未来への投資」とは教育予算の拡充かを質疑しました。

すわみつえ議員は「未来への投資」とは教育予算の拡充かを質疑しました。

所信表明で3つの方針の1つ目として「未来への投資」で「子育て安心」と「教育先進都市」を述べました。

全国で一番、小中学校の統廃合が行われている埼玉県です。鴻巣市における「市内18校の小学校を13校に統廃合する」計画への見解。さらに、不登校児童生徒への対応や、人権にかかわるトイレを含めた校舍老朽化への対応は喫緊の課題です。

「未来への投資」とは、子どもたちが安心して通える学校にすることであり、教育予算を増やし喫緊の課題を解消することではないか。市長の見解を質しました。

市長は「学校の統廃合はいたしかたない。が、地域・保護者が子どもたちを中心におき十分な検討を行うこと」「修繕に関しては予算の拡充が大事」と答弁しました。

法律・生活相談

生活相談はいつでもどうぞ。法律相談は毎月第4金曜日13:30~15:00日本共産党鴻巣市委員会事務所 法律相談の場合あらかじめ予約をお願いします。問い合わせは竹田えつ子、すわみつえ

郵便はがき

3 6 5 8 7 9 0

料金受取人払郵便

鴻巣局承認

1220

差出有効期間
2023年9月
30日まで

切手不要



- 年齢(10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代以上)
- あなたがお住まいの地域は 鴻巣市()
- さしつかえなければお名前、ご連絡先をお書きください

お名前

ご住所



ご記入が終わりましたら、切手を貼らずに投函してください。ファックスでお送りいただいても結構です。締切は2023年1月31日。(連絡先) 鴻巣市天神5-5-15 日本共産党鴻巣市委員会 竹田えつ子 TEL 090-2533-5215 FAX 542-7101 すわみつえ TEL 080-5039-2785 FAX 596-9440



竹田えつ子議員

学校給食費の負担軽減、「聞こえは人権」補聴器購入に補助を

「多子世帯の学校給食費軽減事業」は2023年度中に実施していく

市長選挙で実施方法に違いがありましたが、全ての候補者が給食費の無償化について公約として掲げていたことはすばらしいことだと思います。世論が政治を動かしていると感じました。市長選挙の公約に基づき学校給食費の無償化について、どのように検討するか質しました。

市は、市長の公約である「多子世帯の学校給食費軽減事業の創設」について、制度設計も含め、財政面などあらゆる面で調整しなければならないと考えている。多子、補助率など既に実施している他市の状況を検討・整理し、2023年度中には実施していきたいと答えました。

加齢性難聴の方の補聴器購入に補助を

⇒費用助成に向け課題を整理していく

コロナ禍が続く高齢者はマスク越しで会話が聞き取りにくくなっています。「聞こえは人権問題」と捉えた厚労省の見解は画期的です。加齢性難聴対策として補聴器購入に補助制度を設けることについて質問しました。

市は、加齢性難聴の方が補聴器を利用することは有効と考えている。今後先進事例や補聴器販売業者との意見交換も含め、補聴器購入に費用助成に向けて課題を整理していくと答えました。

社会発展の為に尽力した高齢者の願いに応えるのが自治体の役割

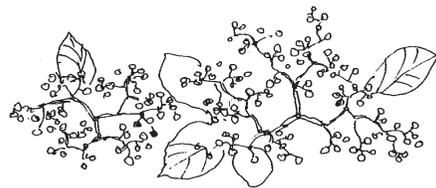
市は財源確保が重要な課題であるとしています。ならば、今日の日本を築きあげ長い間社会発展に貢献された高齢者の皆さんの願いに応えて、財源確保の為に尽力するのが自治体の責務だと考えます。地方自治の本旨に沿って取り組むことを求めました。

市は「住民の福祉の増進をはかること」を基本として、事務事業を進めていくと答えました。一歩前進の答弁でした。実現まで頑張ります。

気候危機打開へ、LED化に補助を

気候危機打開は待ったなしの課題です。私たちの日常の中では光熱を出さない商品に変換していくことです。LED化・高効率給湯器購入に補助制度を創設することを求めました。

市は、LED化等の補助については、ゼロカーボンを目指す中で調査研究していくと消極的な答弁でした。気候危機は命の問題です。これからはしっかり取り組んでいきます。他に、就学援助制度の拡充、放課後児童クラブについて質問しました。



一般質問



すわみつえ議員

市民の声が反映されない小中学校統廃合でよいのか

参加者が非常に少ない意見交換会

【質】川里地域の小中一貫校の意見交換会では、地域の方への案内は、申し込み制で入場券を発行しての取組でした。入場券のない方は入れないようになっていました。400名入れる体育館に17名の参加。開催方法は適切といえますか。

【答】「より多くの方の意見を聞いて」という結果にはなりませんでした。

今後も意見交換会を重ねていく中で、多くの方の意見をいただきます。

意見がないのは「一定の理解をした」から?

【質】5月15日発行の広報かがやきに掲載した意見募集は6月10日が締め切りでした。回答の期日があまりにも短いではないでしょうか。また、回収率3.1%とひくいことをどう考えますか。

【答】回答率の低さと意見の多くが反対の趣旨であることから、「回答のない方は、全て納得していただいているとは思いますが、教育委員会の方針が一定の理解をいただけている」と認識します。

アンケートに一生懸命答えた市民の声が反映されない

【質】審議会でアンケート結果を審議していないのは何故か。

【答】審議事項はアンケートについてはあ

りません。アンケート結果は事前に審議委員に郵送し内容を確認していただいた。

●急増している不登校児童生徒についての見解と新たな取り組みは

新たな取組はないものの、スクールソーシャルワーカーの増員検討の答弁がありました。

●事前に給食を止める連絡をせず欠席した場合でも、給食費が返還されるようにすることについて「公費で賄うことは考えていません」という答弁でした。

あなたの声を市政に生かす 市民アンケート

●今、あなたが実現してほしいと願う要望は何ですか? 該当する項目に☑をつけてください。いくつ選択しても結構です。

【暮らし・経済】

- ① 最低賃金の引き上げ
- ② 消費税の減税
- ③ 中小・地場産業支援
- ④ 住民税など重税の軽減
- ⑤ 光熱費、水道代を安く

【子育て・教育】

- ① 学校給食費の無償化
- ② 小・中学校統廃合の中止
- ③ 校則の見直し
- ④ 保育料の負担軽減
- ⑤ 大学・専門学校の学費軽減

【医療・介護・年金】

- ① コロナ対策の拡充・強化
- ② 国保税の引き下げ
- ③ 介護保険料・利用料減免
- ④ 75歳以上医療費2倍化中止
- ⑤ 年金充実、減らない年金に

【街づくり・環境】

- ① 新こみ処理施設建設予定地の見直し
- ② 自然環境・緑の保全
- ③ フラワー号の運行充実
- ④ 生活道路の安全対策
- ⑤ 防災対策の強化

【平和・民主主義】

- ① 憲法を生かした市政
- ② ジェンダー平等に向けた取組

●具体的なお悩みやお困りごと、市政への要望・ご意見

本音がわかる
明日が見える

しんぶん 赤旗

●日刊紙/月3,497円
●日曜版/月930円

見本紙
お借しませ
ます

新型コロナ、政治、社会保障、経済...「本当のことが知りたい」その思いにこたえる新聞です。暮らしに役立つ情報も満載です。